

第1回ユダヤ人反シオニスト会議宣言

2025年6月13日～15日 ウィーン

1,000人を超える反シオニストのユダヤ人と非ユダヤ人がウィーンに集い、ユダヤ人反シオニズム会議の一環として3日間の講演会とワークショップが開催されました。この種のイベントはヨーロッパで初めて開催され、すでに第2回大会の計画が進行中です。

大会の講演者及び主催者である私たちは、3日間の討議で私たちが到達した共通の見解をここに公開します。

私たちは、反シオニストであるユダヤ人およびその連帯者として、パレスチナおよび追放されたすべてのパレスチナ人と共に、シオニズムとその犯罪（ジェノサイド、アパルトヘイト、民族浄化、占領を含む）に反対します。私たちは、国連のいくつかの規定で認められているように、占領下で生活する人々があらゆる手段で自衛する権利を改めて承認します。世界中の良心あるユダヤ人が団結し、シオニズムに対抗するパレスチナ解放のための全世界的な運動と連帯することが極めて重要です。私たちは、ヨーロッパをルーツとする運動を超えて、「南半球」を含む世界中の反シオニストの声を取り込み、運動を拡大していくことを決意します。

私たちは、2023年10月7日以降イスラエルによって行われたすべての戦争犯罪を断固として非難します。この戦争犯罪には、民族浄化、軍事化されたアパルトヘイト、都市・住宅破壊、学校破壊と学者殺戮、医療施設破壊と医療従事者殺戮、200万人以上のガザ地区住民の強制移住の手段としての大量飢餓、そして現在進行中の数十万人の大量虐殺が含まれます。これらの行為はすでにICCとICJによって戦争犯罪と認定されているが、イスラエル国家は両裁判所の要求を真っ向から拒否し、国連総会と安全保障理事会の双方からの数々の要請も拒否してきました。その結果、現在約200万人の市民が、食料、水、薬、避難所、医療を利用できず、ガザ地区の小さな地域に閉じ込められています。これら現在進行中の犯罪は、1948年までさかのぼる同様の終わりなき犯罪史の中で、直近のものにすぎません。国連総会や国連安全保障理事会の決議に対する度重なる違反や、国連特別報告者による広範な報告にもかかわらず、イスラエルに制裁が課されたことはありません。

これらの戦争犯罪や人道に対する罪は、米国、欧州連合（EU）、英国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドを筆頭とする欧米列強の積極的かつ献身的な支援（軍事援助、財政支援、政治的・外交的援護を通じて）なしには、実行されることも維持されることもありませんでした。ジェノサイドを犯した犯罪国家を支援し武装させることによって、これら上記の政府は1948年のジェノサイド条約に基づき、法的・道義的責任を負うこととなります。私たちは、すべての国家と社会に対し、ジェノサイド犯罪の防止と処罰に関する条約に基づく義務を果たし、ガザで進行中のジェノサイドを終わらせるために必要なあらゆる措置をとるよう求めます。

制裁措置には、1974年にアパルトヘイト政策を行った南アフリカ共和国のように、イスラエルを国連総会から脱退させることも含まれなければなりません。イスラエルの犯罪はさらに恐ろしいものであることは明かです。国連は何十年もの間、イスラエルとエジプト、イスラエルとレバノンの紛争当事者を分離するために国際部隊を派遣してきましたが、イスラエル国家の組織的な抑圧とテロからパレスチナ人の生活を守るための保護部隊を派遣したことはありません。私たちは、今こそそのような人道的措置を講じる時であると合意しました。それがなければ、イスラエルはパレスチナ人の大量殺戮を続けるでしょう。

私たちはまた、EUが自らの法律に従い、イスラエルとのビジネス関係を停止し、EUが資金提供するプログラムにおける準加盟国としての地位を終了することを義務づけるEU・イスラエル連合協定の第2条に従うことを要求します。

私たちは、イスラエルが国連と国連総会のすべての決議を遵守し、ガザで進行中の大量殺戮を終結させ、1948年と1967年に武力によって占領されたすべての領土と、1967年以降に占領されたすべてのシリアとレバノンの領土から軍を撤退させるまで、イスラエルをその勢力から追放するよう、すべての国際社会、団体、組織に呼びかけます。イスラエルは、直ちにガザ地区から軍隊を完全撤退させ、2006年以来続いている封鎖を解除し、すべての援助団体が自由に活動できるよう、無制限のアクセスを認めなければなりません。

私たちは、すべての国家、機関、市民社会組織に対し、ボイコット、ダイベストメント、制裁(BDS)のためのパレスチナ全国委員会の要求を実施し、支持するよう求めます。これには、上記の条件を満たし、国連決議194号に従ってパレスチナ難民の財産と家への帰還の権利を認めるまで、大量虐殺国家とのすべての財政的、学術的、軍事的、文化的、外交的関係を停止することが含まれています。

私たちはまた、イスラエルによるテヘランをはじめとするイランの都市へのいわれのない違法な攻撃と市民の大量殺戮に対し、国連に対し即時かつ包括的な制裁を課すよう求めます。これらの制裁は、軍事的・政治的支援を通じてイスラエルの進行中の国際犯罪を促進・助長している西側諸国政府にも適用されなければなりません。イスラエルが所持する違法な核兵器は、国際原子力機関(IAEA)の監督の下、透明性のあるプロセスで廃棄されなければなりません。

私たちは、イスラエルがユダヤ人のために行動している、あるいはその犯罪行為がすべてのユダヤ人によって支持されているという主張を断固として拒否します。私たちは世界中のユダヤ人に対し、シオニスト国家に反対し、その正当性を否定し、その犯罪的で非難されるべき行為の即時停止を要求するために立ち上がるよう呼びかけます。これには、BDSキャンペーンを支持し、イスラエルが上記の条件を満たすまで、文化的、政治的、組織的な関係を断つことが含まれます。イスラエルとシオニズムは、ユダヤ人の名の下に違法かつ非道徳的な行為を行っています。ユダヤ人が本質的にシオニズムと卑劣なシオニスト国家を支持しているというこの主張は、真の反ユダヤ主義です。

私たちは、シオニズムに反対するすべてのイスラエル人に敬意を表し、イスラエルのユダヤ人に対し、80年以上にわたってパレスチナ人の権利を否定してきた政権への忠誠を再考するよう呼びかけます。ユダヤ人の歴史的遺産とユダヤ教そのものの原則を尊重し、私たちは世界中の良心のあるすべてのユダヤ人に対し、シオニズムの人種差別的イデオロギーとその本質的な優越性に反対し、パレスチナ人とともに立ち上がるよう呼びかけます。その代わりに、私たちはどこにしようと、パレスチナの脱植民地化と解放のための世界的な運動と協力します。私たちは共に立ち上がり、パレスチナのすべての人々のための平等、正義、尊厳の未来、つまり、共に生きることと相互尊重が再び花開くことのできる土地を創造するために、全力を尽くそうではありませんか。

脱植民地化と脱シオニズム。パレスチナとパレスチナの人々に自由を。

署名のご支援をしていただける皆様、こちらのフォームから署名をお願いします:

<https://forms.gle/jb5sJyfisX4ZctNx8>

署名済み支援者

Haim Bresheeth-Žabner

ホロコースト生存者子孫、映画監督、イスラエル／イギリス

Ronnie Barkan

イスラエルの反体制派活動家、講演家、イスラエル

Dalia Sarig

ナチス迫害被害者一族の子孫、政治団体Liste
Gaza候補者、オーストリア

Ghada Karmi

パレスチナ人医師、科学者、作家、イギリス

Ramzy Baroud

パレスチナ人作家、ジャーナリスト、パレスチナ・ク
ロニクル米国

Ilan Pappé

イスラエルの歴史学者、作家、イスラエル

Camille Lévy Sarfati

キュレーター、作家、パレスチナのためのミズラヒ・
ユダヤ人トランスナショナル・ネットワークチュニジア

Roger Waters

ミュージシャン、ピンク・フロイド共同創設者、イギリ
ス

Yakov Rabkin

歴史学者、作家、カナダ

Katie Halper

政治コメンテーター米国

Tarkan Tek

社会学者、活動家、オーストリア

Astrid Wagner

弁護士、作家、オーストリア

Roshan Dadoo

人権活動家、BDSコーディネーター、南アフリカ

Rahma Zein

ジャーナリスト、エジプト

Wilhelm Langthaler

作家、活動家、オーストリア

Stephen Kapos

ホロコースト生存者、建築家、イギリス

Irina Vana

社会学者、政治団体Liste Gaza最有力候補、オース
トリア

Marco Wanjura

人権活動家、BDSオーストリア共同創設者、オース
トリア

Naama Farjoun

理学療法士、Boycott from Within、イスラエル

Tony Greenstein

作家、活動家、J-BIG共同創設者、イギリス

Wieland Hoban

作曲家、団体「中東における公正な平和のためのユ
ダヤ人の声」、ドイツ

Donny Gluckstein

歴史学者、作家、イギリス

Iris Hefets

心理療法家、団体「中東における公正な平和のため
のユダヤ人の声」、ドイツ

Martin Weinberger

ドイツ主義者、政治団体Liste Gaza候補者、オース
トリア

署名支援者

Ronnie Kasrils – Ehemaliger südafrikanischer Minister, BDS Südafrika
Suzanne Weiss – Holocaust-Überlebende, Autorin, IJV, Kanada
Andrew Feinstein – Eh. Abgeordneter, Anti-Korruptions-Aktivist, Südafrika/Großbritannien
Ronit Lentin – Professorin für Soziologie (im Ruhestand), Trinity College Dublin, Irland
Abby Martin – Empire Files
Mike Prysner – Empire Files
Melanie Schweizer – Rechtsanwältin
Zachary Foster – Historiker, Palestine Nexus
Max Blumenthal – The Grayzone
Dr. Nadia Bieler – IPPNW, MERA25/DiEM25
Ulrich Eckle – Ehemaliger UN- und EU/EEAS-Beamter, Shut Elbit Down – deutsche Sektion
Yonatan Shapira
Yosefa Loshitzky
Vivien Cohen
Shelly Steinberg – Deutsch-Israelin, Jüdisch-Palästinensischen Dialoggruppe München
David Cannon – Vorsitzender, Jewish Network for Palestine, Großbritannien
Zohar Chamberlain Regev
Elizabeth Morley – Aberystwyth Friends of Palestine
Anne Mitchell
Dr. Mohsen Farkhani
Peter Jackson – Technischer Direktor (im Ruhestand), Palestine Solidarity Campaign
Mary Pampalk – Women in Black Vienna, USA/Österreich
Michael Chanan – Emeritierter Professor, Universität Roehampton, Großbritannien
Dr. Alex Wodak – Emeritierter Berater, St. Vincent's Hospital, Sydney, Australien
Richard Strachan – Independent Jewish Voices, Kanada
Yuval Man
Amir Latif
Najib Rehman
Dr. Stavit Sinai
Ronit Chitayat Kashi

ご署名いただいた支援者リストはこちらからご覧いただけます:

<https://www.juedisch-antizionistisch.at/deklaration>